

齋藤修一郎と英学②—大学南校から開成学校まで—

(3) 開成学校時代

2025 年 7 月 12 日日本英学史学会本部例会第 581 回

川瀬健一

●補足：

①開成学校法科予科の時代の学科内容

開成学校法科予科の時代の学科内容は、この報告の時点では良くわかっていなかった。その後調べたところ、文部省年報に「開成学校第一年報」に基づいたと思われる記述があり、ここに法科予科第一級の使用教科書と学科の教科時数が記されていることがわかった¹。

次にこの資料を掲載する。

★学科教授書籍

●英法科予科第一級

ミル経済書

キメロイ法律書

ミル論理書

ダルトン性理書

レビントン代数書

ギゾー開化史

ウェランド経済書

ブラウン文典

ワルレン ヒシガール地理書

ロビンソン ハイエル算術書

アンドリュウ 羅甸文典

ベリー 経済書

ウィルソン 万国史

ヒッコックス

サイエンス・オブ・ゼ・マインド

サンダルス 第六リードル

グードリッチ 米国史

スチューデン ヒューム 英国史

英和辞書 三角法付

★学科の教科時数

●法律学校予科一級

週 24 時

語学 7 時

数学 3 時

ラテン語 3 時

歴史 4 時

法科総論 3 時

経済学 3 時

国勢学 1 時

¹ 史料叢書 東京大学史 東京大学年報 第一巻 著者 東京大学史史料研究会 編
出版者 東京大学出版会 出版年月日 1993.3 による

先に「文部省雑誌」明治6年（第3号）に掲載された法学本科第三級と法学予科第一級の学科の教科時数は、

本科第三級は

語学 4時 数学 3時 ラテン語 3時 歴史 4時 法科 3時 経済 3時
国勢学 1時 論理 3時

であったので、これと比較すると、論理の学科がなくなり、語学が3時間増えて7時間となっていることがわかる。また予科第一級は

語学 6時 数学 4時 ラテン語 3時 歴史 4時 法科 3時 経済 3時
国勢学 1時

となっていたので、実際に明治6年9月に発足した英法科予科第一級の学科内容は、当初予定された法科第一級の学科に手を加え、語学を1時間増やし、数学を1時間減らした内容になっていることがわかる。

ここから明治6年9月に直ちに法科本科を発足するにはまだ語学の習得が不十分であるので、当初の予定よりもさらに語学の時間を増やした、新たな予科一級を最上級として発足したことがわかる。

「東京開成学校第二年報」で分かる法科本科生の教育課程は、第一年で列国交際法（平時交際法）・英国法律（大意・憲法及び刑法）・憲法史記・心理学の専門的諸学を英語で講義され、さらに第二年では列国交際法（戦時交際法）・英国法律（慣用法・結約法・衡平法及びその主旨）・政学・修身学、そして最上級の第三年では、列国交際法（交際私法）・英国法律（私犯法・海上法及び貿易法）・比較法論・証拠法及び理説を英語で講義され、第一年からラテン語、さらに第二年ではラテン語によるローマ法の講義が始まり、第二年からはフランス語の講義も始まって、第三年ではフランス語による仏国法律（那命掌法律要旨/スペシャル・パーツ/オブコード/ナポレオン）の講義も始まるのだから、予科で語学を徹底して学んでいないと、これらの専門的講義の受講は無理だと判断されたのであろう。

したがって担当教員は当初予定された予科一級の担当教員が主にあたったと考えられ、その際の使用テキストと合わせて一覧にすれば、

語学：ウイルソン	サンダルス 第六リードル・ブラウン文典
数学：ウィーダル	レビントン代数書・ロビンソン ハイエル算術書
ラテン語：マカデー	アンドリュウ 羅甸文典
歴史：グリフェス	ギゾー開化史・ウィルソン 万国史・グードリッチ 米国史 スチューデン ヒューム 英国史
法科：マカデー	キメロイ法律書
経済学：マカデー	ミル経済書・ウェラント経済書・ベーリー 経済書
国勢学：マカデー	ワルレン ヒシガール地理書

となろう。

ここで興味深いのが、内容的に以上の各学科に属さない教授図書があることだ。

それは、

ミル論理書・ダルトン性理書・ヒッコックス サイエンス・オブ・ゼ・マインド
の3冊である。

ミル論理書は当然論理学の教科書で、論理学は当初本科一年の課程に入っていた学科の教科書、ダルトン性理書は後に明治7年に法科本科生が発足した際の予科には、博物学（人身生理・比較生理・植物・動物）という学科が3年間にわたって学ぶことになっているので、この教科書か。そしてヒッコックス サイエンス・オブ・ゼ・マインドは心理学の教科書に違いなく、予科3年に学習が始まり本科1年で履修する学科の教科書に違いない。

「開成学校第二年報」や「第三年報」を見ていて気が付くことは、実際の学びにおいては、学科表を無視して、一つ上の学年の学科内容を先んじて学んでいる場合が多いことである。

したがって「開成学校第一年報」にしるされたこれらの学科表に属さない教科書類は、本来予科の学科にはないが、来年本科に進むにあたって、学んでおく必要があると考えられた学科を、どこかの学科で臨時に講義したということではないかと思われる。

それは語学ではなかったか。

英語の習得がまだ不十分であるとして当初は週7時間で講義を行ったが、望外にも法科予科第一級の9人の学生の英語力はかなり進捗していたので、この学年の後期にあたる明治7年2月から7月のところで、語学の時間を3時間減らして当初予定の週4時間とし、浮かせた週3時間で、論理学や生理学、そして心理学の講義を、急遽行ったのではなかろうか。この場合担当教員は、当初の本科第三級で論理学を担当することとなっていた理学教授ヴィーダーではなかったらうか。

またもう一つ興味深いのは、グリフィスが担当した歴史である。

なんと一年間に4冊もの教科書を使用している。

ギゾー開化史は、フランス革命とナポレオン戦争を経験したギゾーが、ソルボンヌ大学の講義において、「ヨーロッパ文明は世界の歴史のなかで、どのように位置づけられるのか」の問いについて、ローマ帝国の崩壊から始まり、キリスト教、ゲルマニア人、アラビア人が及ぼした影響、封建制度の確立からブルジョワジーの勃興へ、そして宗教改革を経てフランス革命への歴史の流れを鮮やかに描いた文明論ともいえる異色の本である。またウィルソン 万国史・グードリッチ 米国史の2冊はともに、米国の高等学校における教科書として編纂された概説書。最後のスチューデン ヒューム 英国史は、ヒュームの6巻本の歴史書、イギリスにおける立憲王政の成立史の分厚い書物を、学校での教授資料として抜粋したものと思われる。

グリフィスはこれまで南校・東京第一番中学で学んできた歴史のまとめとして、これらの4冊の歴史を通読させて、学生に西洋史を中心とした民主主義の発展史を把握させヨーロッパ文明の世界史的位置を把握させたいと意図したのだろうか。

②開成学校法学本科一級の年度末試験

また国会図書館が所蔵している東京開成学校第二年報英文版には、明治8年7月に実施された法科一年の学年末試験問題が掲載されている。

この試験問題については、当時この法科一年に在籍していた穂積陳重の子孫である穂積重行著『明治一法学者の出発 穂積陳重をめぐって』（1988年10月岩波書店刊）が全文訳出しているので、参考までにここに掲載する²。

●「ジェネラル・ジュリスブルーデンス」（法論）

- 1 法を改良する種々の機関（agencies）をあげ、これを説明せよ。いかなる機関が日本には最も適するかと考えるか。
- 2 「社会の進歩は身分から契約へ（from status to contract）という言葉は何を意味するか。
- 3 “sin”と“crime”と“tort”を区別せよ。
- 4 ローマにおける各種の“peculiar”（私有財産）の成立を、その成長の順序に従って述べよ。
- 5 ローマと日本における家族を比較せよ。
- 6 「金権政治（timocratic system of government）とは何か。これに対する賛否の論をあげよ。
- 7 いかなる方法によりローマ帝国は確立されたか。
- 8 西欧と日本における封建制度の成立と、それぞれの特殊性について述べよ。

●憲法

- 1 忠誠（Allegiance）とは何を意味するか。諸種の例を挙げて説明せよ。
- 2 「七司教事件」を説明し、そこで決定された法原理をあげよ。
- 3 イギリスの初期の国王は、議会の同意なしに金銭をえるためいかなる便法を行ったか。
- 4 Malcius Prosecution とは何を意味するか。いかなる事件においてこの決定がなされ、その判決はいかなるものか。
- 5 Entick v. Carrington 事件における判決を要約せよ。
- 6 「回復されざる不正はない」ということは、イギリス法においてはどこまで真実か。
- 7 請願の実施に伴う弊害を防ぐために、いかなる規制がなされてきたか。
- 8 “Aylesbury men” 事件を説明せよ。

W. E. Grigsby

●国際法（列国交際法）

- 1 いわゆる「モンロー主義」に含まれる種々の問題をあげよ。

² 前掲書では翻訳されていないラテン語問題のみ、報告者が翻訳した。

- 2 “intervention” はいかなる時に正当化されるか。歴史的事例をあげて答えよ。
- 3 北西領土に関する英米の論争を論ぜよ。
- 4 スイス憲法を説明し、合衆国憲法と比較せよ。
- 5 「国際私法」とは何か。“lex loci” / “lex fori” / “mobilia personam sequantur” を説明せよ。
- 6 契約の解除に関する規則は何か。Smith v. Buchanan 事件において、何が決定されたか。
- 7 破産財産の債権者への譲渡 assignment of a bankrupt’s effects において守るべき規則について、いかなる意見の相違があるか。
- 8 離婚の合法性に関し、諸国家の理論及び慣習上いかなる異なった見解が持たれているか。

W. E. Grigsby

●「メンタル・サイエンス」(心理学)

- 1 Mind の研究からいかなる便益が導かれうるか。
- 2 この学問の特殊性はなにか。そのための最善の方法は何か。
- 3 人間精神の機能はいかに有効に分類されうるか。
- 4 Intellect という語のもとに分類される諸機能を列挙叙述せよ。
- 5 感情 Susceptibilities はいかに分類されうるか。
- 6 意思 Will の性質と顕著な特性を叙述せよ。

Edwd. Sye

●ラテン語 キケロの演説集

『演説集 II 第IV節』から選んだ以下の ad verbun を翻訳せよ。活用、冠詞、前置詞、語形変化、格変化、および文法規則を説明し、その後、自由だが忠実な英語訳を提示せよ。

(*Quod expectavi jaw sum az-iecutus.....*) から始まり、(*ad vesperrum consequentur*) で終わる。

D. B. McCartee

法学の問題やラテン語の問題を評価する専門的知識は報告者にはないが、一読してみても、かなり専門的な内容であると思われる。この学年の課程を修了してアメリカの法科大学に留学した鳩山・小村・菊池・齋藤の4人はそのまま2年次に編入されて大学の講義を受け、二年後もしくは三年後に卒業したのだから、開成学校法科の学科内容は、アメリカの法科大学と同レベルの内容であったと思われる³。

³ 鳩山・小村・菊池は2年後に卒業。齋藤は病気で3年次の試験を受験できずに留年し、翌年に卒業している。